

## 令和元年第2回定例会9月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

### 発言順位

#### 9月13日(金)

- (1) 梅田 宏希 議員(公明党) …… P1
- (2) 林 丸美 // (フォーラム明石) …… P3
- (3) 筒泉 寿一 // (維新の会) …… P5
- (4) 丸谷 聡子 // (未来明石) …… P7
- (5) 三好 宏 // (自民党真誠会) …… P10
- (6) 佐々木 敏 // (公明党) …… P12
- (7) 竹内 きよ子 // (フォーラム明石) …… P13

#### 9月17日(火)

- (8) 森 勝子 // (維新の会) …… P14
- (9) 灰野 修平 // (自民党真誠会) …… P15
- (10) 飯田 伸子 // (公明党) …… P16
- (11) 吉田 秀夫 // (フォーラム明石) …… P17
- (12) 榎本 和夫 // (自民党真誠会) …… P19
- (13) 尾倉 あき子 // (公明党) …… P20
- (14) 林 健太 // (自民党真誠会) …… P21

#### 9月18日(水)

- (15) 松井 久美子 // (公明党) …… P22
- (16) 寺井 吉広 // (自民党真誠会) …… P24
- (17) 国出 拓志 // (公明党) …… P25
- (18) 穂原 成人 // (自民党真誠会) …… P26
- (19) 楠本 美紀 // (日本共産党) …… P27
- (20) 家根谷 敦子 // (スマイル会) …… P29
- (21) 辻本 達也 // (日本共産党) …… P30

※ 順位については予定です。

発言順位	1	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<b>1 山手環状線の全線開通について</b>		
	<p>(1) 大窪工区整備に対する市民の期待について  (要旨) これまでも山手環状線の早期整備について取り上げてきた。  本年7月28日のタウンミーティングでは、西工区完成や江井ヶ島松陰新田線の事業着手に対する市民の評価は高かった。全線開通に向け、大窪工区早期着手の要望が多く上がっているが、市の認識をお答えください。</p> <p>(2) 早期着手に向けた地域の課題について  (要旨) 早期着手に向け積極的な検討を求めるが、早期整備を目指すには、地域の協力が最も大事である。合意形成など、地域の課題についてどのように認識しているか、お答えください。</p> <p>(3) 大久保地域の人口増に対する大窪工区整備の必要性と実現可能性について  (要旨) 大久保地域の人口増に対する課題解決には、J T跡地売却による財源を活用し、事業着手を検討すべきではないか。市の認識をお答えください。</p>		
	<b>2 市立小中学校の教育環境について</b>		
	<p>(1) 人口急増による市内小中学校の現状と将来予測について  (要旨) 市内全域で人口が増加している。特に20代、30代の子育て世帯の増加が顕著である。市内小中学校の教育環境の現状について、どのように認識しているか。また、人口はこれからも増加傾向が続くと思われるが、将来予測と対応についてお答えください。</p> <p>(2) 山手小学校の児童増加と教育環境について  (要旨) 山手小学校は、今後も児童数の増加が予測されるが、現状でも教室の不足が懸念されている。また、山手環状線の整備により運動場が大幅に減少したうえ、教室棟の増設、放課後児童クラブ施設の設置、遊具の移設などにより、ますます狭くなっている。将来予測も勘案した時、隣接する民有地の活用等も含めた教育環境の再整備が必要であると思うが、お考えをお答えください。</p>		

発言順位	1	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p><b>3 議案第32号 平成30年度明石市一般会計歳入歳出決算について</b></p> <p>(1) ふるさと納税促進事業の取り組みについて  (要旨) 平成30年度の新たな取り組みにより、対前年度比1.9倍の実績を上げたことは高く評価するところであるが、一方で明石市民から他自治体への寄附額が前年比1.4倍と大幅に増加している。結果的に、国の交付税措置を入れても収支は約マイナス1,500万円になる。これについてどのように評価しているか、お答えください。</p> <p>(2) ふるさと納税促進事業の課題解消について  (要旨) ふるさと納税制度は今後も継続されることから、本市は収支をプラスにする新たな取り組みが必要である。市内産品の開拓はもとより、本年6月の制度改正により、兵庫県の共通返礼品3品が県下41市町で採用可となった。事業内容についてもより賛同をいただけるよう検討が必要ではないか。新年度の取り組みをお答えください。</p>		

発言順位	2	議員名	林 丸 美 (フォーラム明石)
発 言 事 項	<p><b>1 平成30年度決算について</b></p> <p>(1) 中核市移行に伴う財政への影響について  (要旨) 平成30年度より本市は中核市へ移行し、法定移譲事務及び関連する事務経費や人件費の増額などが懸念されていたが、検討段階では、歳出の増加額は地方交付税の増加額の範囲内に収まるという見込みであった。決算の評価を問う。</p> <p>(2) 新たな施設の人材確保について  (要旨) 中核市移行に伴う新たな事務実施にあたり、保健所や動物センターが整備され人件費の増額が見込まれたが、必要な専門職員・人員は確保できたのか。また、現状をふまえた今後の見通しについても問う。</p> <p><b>2 通学路の安全対策について</b></p> <p>(1) 「通学路交通安全プログラム」の取り組み状況について  (要旨) 平成27年度から始まった「通学路交通安全プログラム」について、本年度で市内全小学校区の点検が完了することになるが、交通安全対策の進捗状況について問う。</p> <p>(2) 点検後の検証について  (要旨) 「通学路交通安全プログラム」の方針では、PDCAサイクルにより安全性の向上を図るとあるが、点検・対策の実施後の効果は。また、改善はなされているのか。</p> <p>(3) 通学路の交通安全対策に係る主体について  (要旨) 学校、PTA、自治会、警察、道路管理者、教育委員会等、多くの関係機関がそれぞれの役割をもって関わり、取り組まれている。しかしながら、地域の事情や時代背景も相まって、それらの関係機関に任せては解決しない通学路もある。「子どもの通学中の安全」を守るうえで、行政主導で行う対策が必要な場面もあると考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>3 文化財の保存活用について</b></p> <p>(1) 文化財保存活用地域計画作成の経緯について  (要旨) 本年度より、文化財保護調査・啓発事業に文化財保存活用地域計画の作成が盛り込まれた経緯と今後のスケジュールについて問う。</p>		

発言順位	2	議員名	林 丸 美 (フォーラム明石)
発言事項	<p>(2) 本事業の展望について  (要旨) 文化財に触れる機会は、ふるさと意識の醸成や知的好奇心の刺激、子どもの情操教育にも非常に大切である。さらに、文化財そのものの魅力やその背景にあるストーリーが新たな価値を生む可能性も秘めていると考えるが、市として本事業にどのようなビジョンを描いているのか。</p>		

発言順位	3	議員名	筒 泉 寿 一 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p><b>1 明石の自然環境について</b></p> <p>(1) 明石の海について  (要旨) 海のまち明石にふさわしいきれいな海であることを願っていますが、先日、友人と潜水をしたところ、意外な光景を目の当たりにしました。  魚が少なくなったと耳にしますが、水産資源に対する取り組みについてどのようにされているのか、お尋ねいたします。</p> <p>(2) 海洋プラスチックごみについて  (要旨) 先日のG20(金融世界経済に関する首脳会合)でも、海洋プラスチック汚染に対して、さまざまな国が関心を持たれていました。人体にも深刻な影響があるとお聞きしております。本市のプラスチックごみ削減について、現状と課題をお尋ねいたします。</p> <p>(3) 資源のリサイクルについて  (要旨) 先日、ペットボトルを100%リサイクルできる技術の世界で初めて実現させた会社の方のお話をお聞きすることができました。地上の資源を利用して豊かな地球環境を救う仕組みは大切です。  本市においても経済と環境が両立する持続可能な循環型社会を形成することが重要だと思います。本市の現在の取り組みについてお尋ねいたします。</p> <p><b>2 子育てについて</b></p> <p>(1) 音楽を活用した子育て環境について  (要旨) 音楽による教育は、子どもの感性が磨かれます。子どもの本来性を守ることが子どもと親の笑顔あふれる幸せな子育てを実現するために有効ではないのでしょうか。  本市では音楽を活用した教育ができないのでしょうか、お尋ねいたします。</p> <p>(2) 食育について  (要旨) 大人の私たちが子どものために食についての知識を持ち、食を選択する力を子どもたちに継承していかなければなりません。  本市では食育は進んでいるのでしょうか、お尋ねいたします。</p> <p>(3) 貧困問題について  (要旨) 貧困問題は深刻な状況です。今や6人に1人の子どもが貧困で苦しんでおります。本市での誰一人取り残さない貧困対策は十分なのでしょうか、お尋ねいたします。</p>		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	筒泉 寿一(維新の会)
発言事項	<p><b>3 市役所新庁舎について</b></p> <p>(1) 庁舎建設基金の積み立てについて (要旨) 現庁舎はまもなく築50年となり、耐震改修が必要であることから、新庁舎建設は必須です。庁舎は、市民への行政サービスの向上のためにも早期の建設が求められています。 庁舎建設にかかる基金の積み立ては十分なのでしょうか。とても心配です。お尋ねいたします。</p> <p>(2) その後の候補地の選定状況について (要旨) いったいどこに建設するのでしょうか。また、いつになったら着工するのでしょうか、お尋ねいたします。</p>		

発言順位	4	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p><b>1 環境行政について</b></p> <p>(1) 循環型社会形成のための取り組みについて  (要旨) 平成30年度は、資源循環、ごみ減量化対策においてどのような取り組みを行ったのか。特に、使い捨てプラスチックについては、取り組みが進んでいないと認識しているが、どのような対策を進めてきたのか。平成30年度の取り組みを踏まえ、今後の取り組みについて市の見解を問う。</p> <p>(2) 新ごみ処理場建設に対する取り組みについて  (要旨) 新ごみ処理場建設について、平成30年度はどのような取り組みが進められたのか。平成30年度の取り組みを踏まえ、今後の方針を問う。</p> <p>(3) 明石市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について  (要旨) 平成30年度の環境基本計画推進事業の成果として、明石市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）が作成された。この成果をより実効性のあるものにするためには、本計画が基本方針とする公共施設の省エネ、再エネ導入推進を全庁的に進める必要があるが、同計画に対する認識と今後の取り組みについて市の見解を問う。</p> <p>(4) 生物多様性あかし戦略の推進について  (要旨) 平成30年度の環境基本計画推進事業の成果として、「明石市の大切にしたい生きもの～明石市レッドリスト～」が完成した。この成果をより実効性のあるものにするためには、このリストを活用し、開発事業に対する適切な保全措置の制度化や市民への啓発等の取り組みが必要であるが、生物多様性あかし戦略推進に対する認識と今後の取り組みについて市の見解を問う。</p> <p><b>2 地域総合支援センターについて</b></p> <p>(1) 地域総合支援センターのわかりやすい広報について  (要旨) センターの役割について市民にどのように周知しているのか。  6つのセンターの運営方針や事業計画のホームページへの掲載や、具体的な支援内容についてわかりやすい広報が必要ではないか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 各センターの評価方法について  (要旨) 誰が、どのようなプロセスで評価しているのか。市民の声は反映されているのか、市の見解を問う。</p>		



発言順位	4	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p>(3) 相談支援体制について  (要旨) 多様な市民からの相談をどのように仕分けし、他部署や関係機関との情報共有や連携体制を構築しているのか。リーダー機関はどのように決定しているのか。地域との連携はどのように行っているのか、生活支援コーディネーターはどのような役割を担っているのか。市の見解を問う。</p> <p><b>3 ひきこもり相談支援課の取り組みについて</b></p> <p>(1) ひきこもり相談支援課について  (要旨) 本年7月に設置されたひきこもり相談支援課の業務内容、職員体制、専門相談の実施状況について、現状を問う。</p> <p>(2) 専門相談から見えてきた課題について  (要旨) ひきこもり状態にある当事者や家族からの相談事案から見えてきた本市におけるひきこもり支援の課題について市の見解を問う。</p> <p>(3) ひきこもりの出口支援について  (要旨) 出口支援として、医療、福祉、就労への支援体制が必要である。しかし、そこに至るまでには、行政がコーディネーター役となり、専門家、当事者会、親の会、サポーター市民など、多様なセクションの連携協力体制の構築や支援の核となる居場所づくりなどが必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>4 不登校児童生徒への切れ目のない支援について</b></p> <p>(1) 本市における不登校児童生徒の現状について  (要旨) 平成30年度における本市の不登校児童生徒の現状を聞く。</p> <p>(2) 不登校児童生徒に対する支援のあり方について  (要旨) 本市が導入している不登校支援システム「A-TASS」は、十分に活用されているのか。適応指導教室の検証や改善は行っているのか。利用者の声は反映されているか。今後は教育支援センターや夜間中学の設置など、新しい視点で支援の幅を広げていく必要があると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 教育機会確保法に対する周知について  (要旨) 教育機会確保法や文部科学省通達は、学校現場において周知徹底されているのか。不登校児童生徒が多く在籍する場合は、教員を加配する等、学校現場における環境整備はできているのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p>(4) 多様な学びを保障する支援や居場所づくりについて  (要旨) 不登校問題を抱える家族や当事者から、経済的理由でフリースクールに通えない、適応指導教室に通いたくない、中学卒業後の支援がない等、多くの課題を聞いている。ひきこもりを未然に防ぐためにも、大阪市の助成制度のような経済的支援や生きる力を育む公的な居場所が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	5	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<b>1 平成30年度決算について</b>		
	<p>(1) 平成30年度決算について            (要旨) 中核市に移行して初めての決算は、堅実な数字が出ている。            歳入は、J T跡地の売却や事業所税の導入、そして人口増により市税収入も増加し、好循環なまちづくりに比例している。            一方、歳出は扶助費が増加しており、決算全体に占める構成比は29.2%と、少し改善されたとはいえ、これまでと同様に、高い水準で推移しており、経常収支比率の悪化に繋がっている。            また、歳出の目的別内訳では、民生費に比べて土木費の構成比率が低く、道路や河川、公園等の公共施設の整備、老朽化対策など、インフラの将来に不安を残さないように努めるべきである。            さらに教育費においては、ICT教育環境整備が遅れている中、全体に占める決算額、構成比率ともに減となっており、将来を見据えた全体的なバランス改善が望まれる。            平成30年度決算について、市長の評価を聞く。</p>		
	<b>2 市民の歯と口腔の健康推進について</b>		
<p>(1) (仮称)あかしユニバーサル歯科診療所について            (要旨) (仮称)あかしユニバーサル歯科診療所の整備概要と現在の進捗状況、そして、目指す方向性について改めて聞く。</p> <p>(2) (仮称)歯と口腔健康推進条例について            (要旨) 市民の歯と口腔の健康づくりについて、より総合的に推進するため、条例を制定してはどうか。</p>			
<b>3 明石市立明石商業高校の魅力づくりについて</b>			
<p>(1) 明石商業高校野球部について            (要旨) 本市で唯一の市立高校である明石商業高校の野球部は、今年春、夏とも甲子園に出場し、全国ベスト4という成績を残した。NHKはもとより、民放でも広く「明石市」の名を全国に轟かせ、その経済効果は計り知れなく大きなものになったと考える。            このことについて、本市を代表する立場である市長の評価を聞く。</p>			

(代表質問)

発言順位	5	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>(2) さらなる魅力づくりについて</p> <p>(要旨) 平成21年に導入した「国際会計科」は、近年の受験志願者数が定員40名ぎりぎりか、若干の定員割れとなっており、文教厚生常任委員会の審議でも改善を求める声が上がっている。全国でも特色ある学科であり、募集要項の見直しも含めPRに努める必要がある。</p> <p>また、「国際会計科」導入時に議論もしていた「スポーツ科」は、当時、開設を断念した最大の課題であった第二体育館が完成し、第二グラウンドの位置づけとして考えることができる17号池公園の整備も進んでいることから、議論を再開するべきだと考える。</p> <p>また、以前から提案している保育士不足に対応するため、「保育科」もしくは「保育専科」の設置も含めて独自性豊かな魅力ある学校への変革が望まれているが、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	6	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p><b>1 中学校に「全員担任制」の導入をしないか</b></p> <p>(1) 中学校を「固定担任制」から「全員担任制」に変更しないか。  (要旨) 東京の千代田区で、「全員担任制」で大きな成果をあげている中学校がある。多感な時期にある中学生を、いじめ、DVから守るために「全員担任制」を導入しないか。</p> <p><b>2 より多くの市民に市の施策を使っただけのために</b></p> <p>(1) 市の施策を市民に勧める時に「オプトアウト」という考え方の導入をしないか。  (要旨) 従来の後からサービスやメニューをオプションとして追加する「オプトイン」から、はじめから予めオプションサービスやメニューを示し、要・不要を受け手が意思表示するという「オプトアウト」に変更し、多くの市民に市の施策を使っただけにしている自治体がふえてきた。本市においても、「オプトアウト」を基本として、施策を市民に使っただけにしないか。</p> <p><b>3 より安全・安心なまち明石市へ</b></p> <p>(1) (仮称) 明石市客引き防止条例を制定しないか。  (要旨) 最近、明石駅周辺の飲食店街で客引きが目立っている。健全な飲食店が迷惑をこうむっている。また、塾帰りの子どもの安全も脅かされている。この際、市が条例を制定し、取り締まりを強化してはどうか。</p>		

発言順位	7	議員名	竹内 きよ子（フォーラム明石）
発言事項	<p><b>1 未来ある子どもたちが心豊かにのびのびと学校生活を送ることができる環境整備について</b></p> <p>(1) 給食費の公会計化について  (要旨) 全国的に教職員の多忙化・過重労働が問題になっています。文部科学省により通知された働き方改革が求められる中、教職員が授業に専念できる環境を整えるために、学校給食費の公会計化が必要であると考えます。本市の見解をお聞きします。</p> <p>(2) 生徒指導相談員の配置について  (要旨) 市内の小中学校においては、教職員の定数が少なく、子どもたちに行き届いた配慮ができていない現状があります。学校現場からは生徒指導相談員の配置を求める声がありますが、現況についてお聞きします。</p> <p>(3) 小学校における環境整備について  (要旨) 小学校においては校舎の老朽化が深刻で、子どもたちが安心して学校生活を送れていないとの声がありますが、現況についてお聞きします。</p> <p>(4) 中学校の部活動について  (要旨) 働き方改革の一環として、中学校の部活動において現場の状況に沿ったノー部活動デーの約束事が守られているのか。また、子どもたちや教職員にとって望ましい状況になっているのか、本市の見解をお聞きします。</p> <p><b>2 不登校児童生徒への支援のあり方について</b></p> <p>(1) 不登校になるきっかけについて  (要旨) 不登校の始まりは、統計的にも2学期が多いと言われています。夏休みに基本的な生活リズムが崩れ、昼夜逆転してしまうことが一因です。宿題ができない、学校行事に参加しづらいなどの悩みに対し、保護者と学校が役割を認識し、子どもたちと関係機関との連携強化が必要であると考えます。本市として、どのように認識し、どのような予防対策を行っているのか、お聞きします。</p> <p>(2) 不登校対策としてのスクールソーシャルワーカーの全中学校配置について  (要旨) 文部科学省は、令和元年度までに全中学校へのスクールソーシャルワーカーの配置を目指しています。不登校、虐待、いじめの早期発見やケアが必要だと考えます。現場の教職員と連携しながら子どもたちを見守る必要がありますが、現状と今後の対応について、本市の考えをお聞きします。</p>		

発言順位	8	議員名	森 勝子(維新の会)
発言事項	<p><b>1 身を切る改革について</b></p> <p>(1) 市長は身を切る改革をどう思われますか。  (要旨) 日本維新の会の全議員は、議員報酬の2割を被災地に寄附しております。  泉市長は初当選以降、今年の2月までは、給与3割カットを継続しておられたとお聞きしておりますが、身を切る改革は終わったのでしょうか。</p> <p>(2) 市長の退職金について  (要旨) 日本維新の会の首長は、退職金をゼロにしております。泉市長は、今期の退職金についてどのように考えておられますか。</p> <p><b>2 下水道整備について</b></p> <p>(1) 船上浄化センターの建てかえについて  (要旨) 耐用年数を考慮すると、船上浄化センターの建てかえを早急に行うべきだと思いますが、見解をお聞きします。</p> <p><b>3 西明石再開発について</b></p> <p>(1) 西明石活性化プロジェクトにおけるJRとの協議について  (要旨) プロジェクトの進捗状況とその後の取り組みについてお聞きします。</p> <p>(2) 旧国鉄清算事業団用地の活用について  (要旨) 西明石にも市民センターが必要だと思います。  今回の活用計画には、市民センターの機能がありませんが、問題はないのでしょうか。</p>		

発言順位	9	議員名	灰野 修平 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 市内中部地区の交通渋滞緩和対策及び安全対策について</b></p>		
	<p>(1) J T跡地の開発による交通環境の変化に対する市の対応について  (要旨) J T跡地の開発で約800戸の住宅が建設され、約2,500人の人口増加とそれに伴う車の増加が予想される。交通環境の変化が起こると思われるが、市の対応について見解を聞く。</p> <p>(2) 山手環状線大窪工区の早期着手について  (要旨) この道路整備に係る事業費は20億円程度とされているが、国の交付金事業として採択されれば事業費の2分の1は社会資本整備総合交付金を活用することができる。国に対して早急に要望書を提出し、早期に事業化すべきと考えるが、見解を聞く。</p>		
	<p><b>2 高齢者施策について</b></p> <p>(1) シニア活動応援事業の成果等について  (要旨) 高齢者の地域活動に対する補助金事業であると認識するが、この事業の使い勝手はどうか。成果報告はどの程度あるのか。また、課題と対策について見解を聞く。</p> <p>(2) 介護予防と地域づくりのための自助・共助を促す施策と健康ポイント付与事業について  (要旨) 例えば、いきいき百歳体操の活用等、住民主体で地域展開できる活動に行政が支援をするといった体制づくりはできないか。また、その施策に対する健康ポイント付与事業の実施について見解を聞く。</p>		
<p><b>3 市民病院の今後について</b></p>			
<p>(1) 地域医療の充実はどう貢献していくのか、またその役割について  (要旨) 市民病院は平成23年10月1日に地方独立行政法人となり8年が経過している。毎年、評価委員会による評価結果が示されているところであるが、今後は、地域医療の充実はどう貢献していくのか。また、その役割について見解を聞く。</p> <p>(2) 建てかえについて  (要旨) 市民病院の建てかえについては、病院内部での協議は当然のことであるが、行政の関わりも必要と考える。市の見解を聞く。</p>			



発言順位	10	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p><b>1 子どもの養育費確保に向けた取り組みについて</b></p> <p>(1) 養育費立替パイロット事業の現状について  (要旨) 昨年11月から試行実施している養育費立替パイロット事業について、申込状況や立替状況等の現状を問う。</p> <p>(2) 養育費確保に向けたさらなる支援充実について  (要旨) ひとり親家庭の方から、養育費の支払いがなく生活が困窮しているという相談をいただくことが多い。子どもたちが安定した生活を送るためにも、より確実に養育費が受け取れるよう、市としてさらに手厚い支援を検討してはどうか。</p> <p><b>2 バリアフリー化の取り組みについて</b></p> <p>(1) 本市のバリアフリー化の取り組みについて  (要旨) 先導的共生社会ホストタウンとして認定され、人にやさしいまちづくりを推進している本市としての、今後のバリアフリー化に対する取り組みについて問う。</p> <p>(2) 本市の公共施設のバリアフリー化について  (要旨) 障害のある市民の方々から、明石市立市民病院やコミュニティセンターを車で利用する際に、非常に不便な点があるとのこと指摘があった。今後の市の公共施設のバリアフリー化についての取り組みを問う。</p> <p><b>3 健診事業について</b></p> <p>(1) がん検診及び特定健診受診の現状と今後の取り組みについて  (要旨) 本市のがん検診及び特定健診の受診率は、平成28年度においてどちらも目標よりかなり低かった。本市は昨年度より健診事業の見直しを行っているが、その現状と今後の取り組みを問う。</p> <p>(2) 歯周病検診の現状と今後の取り組みについて  (要旨) 生活習慣病に関連が深いとされている歯周病だが、本市の歯周病検診受診率は平成28年度において4%以下であった。現在の歯周病検診の現状と今後の取り組みを問う。</p>		

発言順位	11	議員名	吉田 秀夫 (フォーラム明石)
発 言 事 項	<p><b>1 防災・減災対策について</b></p> <p>(1) 本市の防災体制について  (要旨) 正規職員数は、兵庫県南部地震被災当時と比較すると大幅に減少しており、特に災害復旧工事を担当する土木・建築技術職員の数が減少しています。公助の部分で大きく力を落としていると思われませんが、認識をお尋ねします。</p> <p>(2) 避難所の設備並びに備蓄について  (要旨) 西日本豪雨時、避難所となるべき施設にふさわしい設備や備蓄が備わっていない、避難所によって運営に大きな差があるなど、避難所生活における被災者ニーズへの対応や栄養管理・健康管理等の対応が十分でなかった避難所があったと聞いています。本市の対策についてお尋ねします。</p> <p>(3) 地域防災力の強化について  (要旨) 地域防災力の強化に向けた、本市の取り組み状況をお尋ねします。</p> <p>(4) 災害時応援協定について  (要旨) 自治体間、事業者との応援協定の状況をお尋ねします。</p> <p>(5) アスベストリスクについて  (要旨) 兵庫県南部地震の復旧・復興業務に携わった人がアスベストに起因する中皮腫に罹患し亡くなっています。また、4人が労災、1人が公務災害の認定を受けています。今後災害が発生した場合、職員やボランティア等が同じような業務を担うこともあると考えますが、アスベストリスクの周知と今後の備えについてお尋ねします。</p> <p><b>2 会計年度任用職員制度の導入について</b></p> <p>(1) 法改正に対する認識と本市の制度導入について  (要旨) 地方自治法及び地方公務員法が改正され、2020年4月から会計年度任用職員制度が導入されます。法改正に対する本市の認識と、本市への導入目的をお尋ねします。</p> <p>(2) 新たに同制度への移行対象となる本市の職員数と業務実態について  (要旨) 勤務形態別（フルタイム・パートタイム）、職種別の職員数をお尋ねします。職種によっては正規職員数とのバランスが崩れ、業務に支障を来していると聞きますが、認識をお尋ねします。</p>		

発言順位	11	議員名	吉田 秀夫（フォーラム明石）
発言事項	<p>(3) 非正規職員の待遇改善、正規職員との均等待遇の観点から、今回本市が導入しようとしている制度は十分なものとなっているのか。</p> <p>（要旨）フルタイムで勤務する会計年度任用職員の昇給制度は、正規職員に準じた制度設計が必要であると考えますが、昇給額は1年につき500円とされており、正規職員の1年につき4号級の昇給と比べて大きな差があります。また、採用時の給与月額の設定にあたっては、正規職員にある前歴換算制度が新たな会計年度任用職員には適用されていません。こうした待遇格差は合理的な理由をもって説明できるものなのか、お尋ねします。</p> <p>(4) 正規職員との均等待遇について</p> <p>（要旨）正規職員との均等待遇については、さらなる勤務条件の改善が必要であると考えますが、今後、市としてどう取り組むのか見解をお尋ねします。</p>		
	<p><b>3 明石子どもセンターにおける児童虐待対応について</b></p> <p>(1) 人員体制の充実について</p> <p>（要旨）児童虐待事案に適切に対応できるよう人員体制を充実させるべきであると考えますが、どのような状況なのか、お尋ねします。</p> <p>(2) 関係機関との連携について</p> <p>（要旨）警察や学校など、関係機関との連携も非常に重要であると考えますが、現在の取り組み状況をお尋ねします。</p> <p><b>4 定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び夜間対応型訪問介護の普及について</b></p> <p>(1) 介護保険の保険者としての本市の取り組み状況について</p> <p>（要旨）兵庫県は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、県内のどこに居住していても24時間安心して在宅生活を続けられるというメリットがあることから、第6期介護保険事業計画においても重要事項として位置づけ、重点的に取り組んでいます。本市の取り組み状況についてお尋ねします。</p>		

発言順位	12	議員名	榎本 和夫 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 明石港東外港地区の再整備について</b></p> <p>(1) 砂利揚げ場の立ち退きに係る進捗状況について (要旨) 兵庫県が使用許可を更新せず、立ち退き交渉中とのことだが、その進捗状況を問う。</p> <p>(2) 本市としての関わり方は。 (要旨) 再整備は兵庫県が行う事業ではあるが、所在地自治体として本市はどのように関わっているのかを問う。</p> <p>(3) 庁舎移転・建てかえとの一体的整備の考えは。 (要旨) 明石市役所所在地と隣接した土地における再開発となるが、現在協議中の市役所本庁舎移転・建てかえなど、一体的な整備の考えはあるのかを問う。</p> <p>(4) 本市としての再整備ビジョンはあるのか。 (要旨) 本市としての再整備における跡地利用についてのビジョンがあるのかを問う。</p> <p><b>2 行政サービスのあり方について</b></p> <p>(1) 「ミニあかし」実現に向けた取り組みの推進について (要旨) 「ミニあかし」実現に向けて、具体的にどのような取り組みをされているのかを問う。</p> <p>(2) 市民センター等の機能強化について (要旨) ワンストップサービス実現に向けて、機能強化が必要不可欠であると思うが、どのような考えかを問う。</p> <p><b>3 たこバスの路線拡充・検証について</b></p> <p>(1) 路線拡充等の検証はどのように行われているのか。 (要旨) たこバスの路線拡充等の検証がいつ、どのタイミングでなされているのかが見えない故に問う。</p> <p>(2) 地域の意見、要望などはどのように反映するのか。 (要旨) 地域の意見、要望などを反映するために、検証をする場を明確にするべきではないのか。</p> <p>(3) 高齢化率が高く移動負荷の大きい地域への導入について (要旨) 高齢者福祉の観点から、市内で高齢化率が最も高い高丘、朝霧地区に路線がない理由を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 学校給食の無償化でさらなる子育て支援の充実を</b></p> <p>(1) 学校給食の無償化における財政負担について (要旨) 学校給食の無償化を行った場合、本市の財政負担はどの程度必要か。</p> <p>(2) 今年10月の消費税率引き上げにより幼児教育・保育が無償化となる予定であるが、本市における影響について (要旨) 今年10月の消費税率引き上げにより幼児教育・保育が無償化となる予定であるが、第2子以降の保育料無料化に取り組む本市として、歳入への影響がどれだけ見込まれるのか。</p> <p>(3) 学校給食の無償化について (要旨) 国の幼児教育・保育の無償化により見込まれる財源を活用し、子育て支援のさらなる充実策として学校給食の無償化に取り組まないか。</p> <p><b>2 災害時の備蓄品に乳児用液体ミルクの導入を</b></p> <p>(1) 災害時の備蓄品に乳児用液体ミルクの導入を。 (要旨) 災害時にライフラインが断絶しても利用できる乳児用液体ミルクを備蓄品として導入しないか。</p> <p><b>3 若年性認知症支援について</b></p> <p>(1) 本市の若年性認知症患者への支援の現状について (要旨) 本市の若年性認知症患者への支援の現状を聞く。</p> <p>(2) 総合的認知症支援のための条例制定に向けて、若年性認知症の支援はどのように反映されるのか。 (要旨) 今年度、総合的認知症支援のための条例制定を検討されているが、若年性認知症支援についてはどのように盛り込まれるのか。</p> <p>(3) 若年性認知症相談窓口の設置と支援コーディネーターの体制づくりについて (要旨) 認知症支援窓口は設置されているが、若年性認知症のニーズは高齢者の認知症とは異なることから、若年性認知症相談窓口の設置と支援コーディネーターが必要と考える。その体制づくりをしないか。</p> <p>(4) 若年性認知症患者と家族の集いの場の市民への周知について (要旨) 本市においても、今年10月、若年性認知症患者と家族の集いの場が発足されるが、当事者・家族に寄り添うためにも、市民への周知を図らないか。</p>		

発言順位	14	議員名	林 健 太 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 AI、ICT、IoTの活用に関して</b></p> <p>(1) (仮称) 情報技術検討チームの設置について  (要旨) 民間企業や専門家を交えた、本市に最適なIT環境整備を図るための検討チームを設置してはどうか、市の見解を問う。</p> <p><b>2 子育て支援について</b></p> <p>(1) 子育て支援の現状について  (要旨) 妊娠期からの切れ目ない子供・子育て支援として、どのような取り組みを行っているのか、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 生後間もない時期の子育て支援について  (要旨) 特に生後間もない時期は、母子ともに心身が不安定になりやすいため、行政などの第三者の見守りが必要である。また、子供に関する備品や消耗品等の購入で経済的負担が大きい時期でもあるため、支援を拡充ができないか、市の見解を問う。</p> <p><b>3 更生支援の推進について</b></p> <p>(1) 条例施行後の更生支援の取り組みの方向性について  (要旨) 本年4月に全国初となる明石市更生支援及び再犯防止等に関する条例が施行された。この条例に基づき、どのように実効性ある支援を実施していくのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 更生支援に取り組む担い手の支援について  (要旨) 更生支援を行うにあたっては、地域の方々の理解と協力が不可欠である。保護司会、更生保護女性会、協力雇用主、BBS会といった地域住民からなる民間団体が活動を行っているが、最近では全国的に保護司のなり手不足が深刻化するなどの問題があると聞く。本市において、各種団体がより一層活動しやすくなるための環境づくりが必要であると考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	15	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p><b>1 明石市内におけるJR各駅及び沿線のまちづくりについて</b></p> <p>(1) JRとの連携、協力について  (要旨) 本市では、JR明石駅や西明石駅のホームドア設置及びJR西明石駅周辺の再整備など、JR駅及び駅周辺を核としたユニバーサルデザインのまちづくりを目指している。そのことから、JRとの連携、協力が必要であると考え、市の認識を問う。</p> <p>(2) JR沿線における大久保・魚住駅間の新駅設置について  (要旨) JR沿線における大久保・魚住駅間の新駅設置については、過去に将来的課題となっていた。人口増の観点からも、本格的な検討に取り組む時期が来ているのではないかと思われるが、市の認識を問う。</p> <p><b>2 庁舎の建てかえについて</b></p> <p>(1) 老朽化が進む庁舎の建てかえについて  (要旨) 現在の本庁舎は1970年に建築され、1981年の建築基準法改正による新耐震基準を満たしておらず、2020年には、法定耐用年数の築50年を迎える。このような状況下でありながら、県下で今後の方向性が決定できていないのは本市のみであることから見解を問う。</p> <p>(2) 整備スケジュールについて  (要旨) 国の財政支援メニューの市町村役場機能緊急保全事業を利用するためには、2020年までに庁舎の実施設計に着手しなければならない。適用期限が迫っているが、本市は、この国の有利な財政支援を受けるつもりはないのか。また、整備スケジュールについては、どのように考えているのか。</p> <p><b>3 SDGs(国連の持続可能な開発目標)の達成に向けた取り組みについて</b></p> <p>(1) SDGsの長期総合計画への反映について  (要旨) SDGs未来安心都市・明石の創造に向けてSDGsを推進していくためには、まちづくりの最上位計画である長期総合計画にSDGsを位置づけることが重要である。</p> <p>(2) 市役所内の体制について  (要旨) SDGsの達成に向けて、市役所内に(仮称)SDGs推進会議の設置や、市内企業、団体等の外部有識者組織を立ち上げるべきではないか。</p> <p>(3) 市民や事業者への周知及び啓発について  (要旨) SDGsの市民認知度の目標を決めて、市民向けの取り組みや事業者向けの研修実施等の早急な取り組みが必要である。</p>		

発言順位	15	議員名	松井久美子（公明党）
発言事項	<p><b>4 性的少数者（LGBT）に寄り添うやさしいまちづくりの推進について</b></p> <p>(1) 性的少数者（LGBT）に寄り添うまちづくりの推進について  （要旨）SDGsの「誰一人取り残さない」社会を実現するためには、性的少数者（LGBT）に寄り添うまちづくりが必要である。</p> <p>(2) 性的少数者（LGBT）を理解するための啓発活動について  （要旨）市役所全職員や教育現場における研修、市民向けの講演会等を定期的実施することで理解の促進と支援の必要性が認識できる。</p> <p>(3) パートナーシップ制度の導入について  （要旨）全国各地でパートナーシップ制度の導入が進んでいるが、本市の取り組みについて聞く。</p>		



発言順位	16	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 終活支援について</b></p> <p>(1) 終活期にある方からの相談支援の現状について  (要旨) 本市では、現状、終活期にある方への生活支援に関して、どのような相談を受け、どのように対応しているのかを問う。</p> <p>(2) 終活を支援するための今後の取り組みについて  (要旨) 今後の流れとして、さまざまな形で終活が進められていくことになると思うが、市民の終活を支援するためにどのような取り組みを行っていくのか、本市の見解を問う。</p> <p><b>2 ごみ行政について</b></p> <p>(1) ごみ処理施設(明石クリーンセンター)建てかえについて  (要旨) 本市は、ごみ処理施設の建てかえを計画している。新ごみ処理施設建設の基本方針について問う。</p> <p>(2) プラスチックごみについて  (要旨) 近年、プラスチックごみによる環境破壊が世界的に問題となっている。本市のプラスチックごみ問題の解決に向けた取り組みについて問う。</p> <p><b>3 本のまち明石について</b></p> <p>(1) 本のまち明石に向けた現状と今後の取り組みについて  (要旨) 本市は、本のまち明石にふさわしいさまざまな取り組みを進めている。現状と今後の取り組みについて問う。</p> <p>(2) 市民ニーズの高い図書館の新設について  (要旨) 全国の中核市には、平均約5カ所の図書館が設置されていると聞く。本のまち明石を目指す本市にとっての図書館新設に対する見解を問う。</p> <p>(3) 読書バリアフリーについて  (要旨) 視覚障害や発達障害のある人が読書しやすい環境を整える、いわゆる読書バリアフリー法が令和元年6月21日に成立した。地方自治体にも読書環境の整備推進に関し努力義務が課せられ、国と連携して計画を策定し、実行していくことが求められている。本市の今後の課題と取り組みを問う。</p>		

発言順位	17	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 市民の利便性向上のための方策について</b></p> <p>(1) JR西明石駅以北の交通不便地域の対策について  (要旨) たこバスミニ等を走らせることや、あるいは、デマンドタクシー、さらには乗り合いタクシー等々、何らかの形で、この交通不便地域の解消を図れないか。</p> <p>(2) 西明石の救急病院について  (要旨) 地域住民の命を守るためにも、市は積極的な誘致に関わっていくべきではないか。</p> <p>(3) 寿タクシー利用券について  (要旨) 来年度の市の方針について、どのようにお考えなのか。</p> <p><b>2 投票率向上のために</b></p> <p>(1) 投票所における対策について  (要旨) 投票日に投票所に行かれる高齢者や障害のある有権者に少しでも配慮するという観点から、投票所の近くに椅子を設置してはどうか。</p> <p>(2) 投票所のバリアフリー化について  (要旨) 投票率の向上のためには、少なくとも可能な限りバリアフリー化を促進していかななくてはならないと考えるが、どうか。</p> <p>(3) 投票所の見直し、精査について  (要旨) 高齢者、障害のある方の目線から、全市の投票所の見直しが必要ではないか。</p> <p>(4) 若年層の投票率向上について  (要旨) 若年層の投票率向上に向け、市としてどのような対策を講じてこられたのか。</p> <p><b>3 学校現場の諸問題について</b></p> <p>(1) 校務支援システムの導入について  (要旨) 今こそ、市長がかねがねおっしゃっておられる米百俵の精神を発揮すべき時であり、教育に予算を配分していくべき時なのではないでしょうか。</p> <p>(2) PTAの諸問題について  (要旨) PTA組織について、どのようにお考えなのでしょう。PTAがなくなることによる子どもたちへの影響は。</p>		

発言順位	18	議員名	穂原 成人 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 学校教育と教育環境について</b></p> <p>(1) 学校現場でのいじめ対策の取り組みと教員研修について  (要旨) 当事者間のことを第一に考えた取り組みがされていないような案件があり、教育委員会として指導方法を再考する必要があると考える。</p> <p>(2) 空調設備設置による効果について  (要旨) 空調設備設置による環境整備が図られたが、利用方法はどうか。検討課題の解消につながっているのか。夏休みの短縮等、将来、目に見える効果を出すためにどのように考えているのかを聞く。</p> <p>(3) 学校給食について  (要旨) 味の確認や各学校での食味の統一を図る努力が感じられず、学校現場での取り組みとチェック方法を統一させる必要があると考える。</p> <p>(4) こども食堂について  (要旨) 本市では、さまざまな子ども支援の事業が展開されているが、こども食堂について、子どもたちに一番身近な学校職員の関心が薄いように感じられるため、認識について聞く。</p> <p><b>2 道路安全対策について</b></p> <p>(1) 違法ブロック塀などの改善指導や対策について  (要旨) 学校敷地内のブロック塀の改修や撤去は進んでいるが、道路に面した危険箇所の指導や啓発を行っているのか。狭隘道路の解消策の一環でもあるが、取り組みが進んでいるように見受けられないため、改善指導や対策について聞く。</p> <p><b>3 農業支援策について</b></p> <p>(1) 生産緑地制度のその後の考え方について  (要旨) 以前、国の農業政策の進み方を見ながら検討をする旨の答弁があったが、その後どのように考えているのかについて聞く。</p> <p>(2) 市内農業生産者及び農業経営の継続策について  (要旨) 本市では、兼業農家が圧倒的に多く、何らかの支援策を求める声が多くある。</p>		

発言順位	19	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 65歳になり障害福祉から介護保険に移行するにあたっての問題について</b></p> <p>(1) 必ず介護保険を優先させなければならないのか。  (要旨) 明らかに障害者総合支援法に基づくサービスが適切と考えられる場合は、介護認定を受けずに障害福祉サービスを引き続き利用することはできないのか。</p> <p>(2) 制度のはざままで必要な支援が受けられない事態にならないか。  (要旨) 65歳になり介護認定を受けると、障害者総合支援に基づくサービスから介護保険サービスに移行するため、障害者施設が利用できなくなる。特別養護老人ホームの入所待ちのため必要な支援が受けられなくなるという事態になったとき、市はどのような対策を取るのか。</p> <p><b>2 がん検診助成券と胸部検診について</b></p> <p>(1) 以前のように、がん検診助成券を70歳以上の方に配布を。  (要旨) 平成30年度に実施した、大腸がん、胸部、胃がんリスク、乳がん、子宮がん、それぞれ検診の受診率及び精密検査の受診率について聞く。受診率向上のため、がん検診助成券を70歳以上の方に配布しないか。</p> <p>(2) 胸部検診を集団健診と個別検診の併用にしないか。  (要旨) 今年度から胸部検診が集団健診のみとなったが、受診状況はどうか。市民の方から「何とかならないか」との声がたくさん寄せられている。以前のように個別検診との併用にしないか。</p> <p><b>3 待機児童解消に向けたさらなる取り組みについて</b></p> <p>(1) 都市公園を活用した施設整備について  (要旨) 市内の公園を活用した保育所整備計画について、特に上ヶ池公園は、平日、小さいお子さんの利用が多いが、すみ分けはできるのか。公園の砂場は安全に管理されているのか。</p> <p>(2) 公立幼稚園のさらなる活用のための給食実施について  (要旨) 給食の実施については、幼稚園や保護者からの要望があったのか。職員の負担にならないか。アレルギー対策は大丈夫か。また、保育所は給食のおかず代が無償となるが、幼稚園給食はどうか。全員喫食か、家庭弁当との選択制か。</p>		

発言順位	19	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>(3) 公立幼稚園を連携施設とした小規模保育事業所の設置について  (要旨) 幼稚園での保育所分園設置、預かり保育・3歳児保育の実施等、次々と新しい施策が行われている。新たに公立幼稚園を連携先とした小規模保育事業所の設置に当たって、幼稚園との連携はしっかり取れるのか。</p>		
	<p><b>4 会計年度任用職員について</b></p> <p>(1) 会計年度任用職員とはどういう職員か。  (要旨) 現在の臨時的任用職員、特別職非常勤職員が4月から会計年度任用職員となるが、これまでとの違いは。</p> <p>(2) 会計年度任用職員制度に移行するにあたり、処遇は現行制度を引き継ぐのか、改善が行われるのか。  (要旨) 現在、フルタイム勤務の臨時職員237人中、128人いる保育士の処遇改善はどのように行われるのか。</p> <p>(3) 改正労働契約法が適用されるのか。  (要旨) 改正労働契約法では、同じ職場で1年、3年などの期間を決めて雇用され、それを何度も繰り返している人が通算5年を超えると、申し込めば期間の定めのない無期雇用に変換される。本市でも適用されるのか。</p>		

発言順位	20	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 豊かな海づくりについて</b></p> <p>(1) 第41回豊かな海づくり大会の内容について  (要旨) 本市での大会開催が決定した場合、明石の子どもたちが海や魚に親しみを感じられるような内容や、「豊かな海」についての啓発に結びつく内容が必要と考える。大会内容についてお尋ねしたい。</p> <p><b>2 読書バリアフリー法について</b></p> <p>(1) 読書バリアフリー法制定を受けて、「本のまち」、「やさしいまち」あかしとしての取り組みについて  (要旨) 6月議会においても同様の質問をしたが、その後の進捗状況と、条例制定のスケジュール等についてお尋ねしたい。</p> <p><b>3 たばこ対策について</b></p> <p>(1) 受動喫煙防止や歩きたばこに対する取り組みについて  (要旨) 全国でも受動喫煙防止のための分煙化や、歩きたばこ対策に取り組む自治体がふえている。  「やさしいまち」、「こどもを核としたまち」としての、受動喫煙防止や歩きたばこ対策の今後の取り組みについてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	21	議員名	辻本 達也（日本共産党）
発言事項	<p><b>1 人事行政について</b></p> <p>(1) 現状にかかる認識について  (要旨) 職員数は、事務を適正に執行することができるものとなっているかを問う。</p> <p>(2) 今後の取り組みについて  (要旨) 正規職員1, 800名体制の目標は見直し、職員数は減らすのではなくふやすべきである。今後の取り組みについて問う。</p> <p><b>2 指定難病について</b></p> <p>(1) 改正難病法施行後の影響について  (要旨) 2015年の改正難病法施行後の影響について問う。</p> <p>(2) 指定難病に入っていない疾病について  (要旨) 指定難病に入っていない病気を指定難病につなげる方策について問う。</p> <p>(3) 市の見解と今後の取り組みについて  (要旨) 政府においては、2020年度の制度見直しに向けての議論が始まっている。市として具体的な見直し案を示し、国に働きかけを行うべきと考える。見解を問う。</p> <p><b>3 生活保護行政について</b></p> <p>(1) 相次ぐ不祥事について  (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) ケースワーカーの負担軽減について  (要旨) 社会福祉法で規定されている標準配置数と本市の状況について問う。</p> <p><b>4 JT跡地北側に隣接する民有地について</b></p> <p>(1) 神鋼不動産との交渉経過について  (要旨) 6月議会以降の取り組みについて問う。</p> <p>(2) 神鋼不動産の主張について  (要旨) 同社の主張内容について問う。</p> <p>(3) 今後の進め方について  (要旨) 市の同地に対する基本的な考え方について問う。</p> <p><b>5 新庁舎整備について</b></p> <p>(1) 市民への情報発信について  (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 市民の意向確認について  (要旨) どのように行おうと考えているか見解を問う。</p>		